

# ほけんだより6月号

令和4年

大和保育所

花々や緑が目を楽しませてくれた季節が過ぎ、もう雨の季節です。この時期は、蒸し暑い日や肌寒い日があり天候が安定しないため、免疫力の未熟な子どもたちの体調に影響が出やすくなります。

6月も登園前の健康チェックをお願いします。子どもたちの体調不良の早期発見と対応で病気になるよう梅雨時を乗り切りましょう。

## ★5月に発症した感染症

アデノウイルス感染症・・・1名 嘔吐・・・2名  
下痢・・・8名 発熱でのお休み・・・23名

5月に入り肌寒い朝から汗ばむ昼間と、気温差についていけない事や暑さに慣れていない事からか、未満児クラスを中心に鼻水・咳・発熱・下痢等、**体調を崩す子どもが多くなっています。**

★★子どもが疲れた様子の際は、早めに十分な栄養と休養を心がけ免疫力を保ち病気にしないよう予防をしましょう。

## 梅雨どきに気をつけたいこと

### ◇食中毒：

食べ物を通してたくさんの細菌や細菌の毒素が体の中に入る事によって起こります。高温多湿で細菌は増え食中毒が発生し易くなります。

※ 鶏肉は、水分が多く細菌が繁殖しやすいので、唐揚げなど、ピンク色の部分が見えなくなるまでしっかり火を通しましょう。  
鶏肉に付着したカンピロバクターによる、食中毒の報告は当園でも過去2～3例ありました。

◇**熱中症**：朝食をしっかり摂る事で、水分・塩分・糖分・ミネラルを補うことが出来、**予防になります。**

子どもは、睡眠中に大人以上に汗をかき、起床時には、脱水気味ですので、朝食を食べないで登園した場合、熱中症症状が起きやすくなります。  
<お願い> 保育中しっかり水分補給をしますので、お茶を多めに準備していただくようお願いします。水よりは、カフェインのない麦茶が良いです。

※冷えすぎたお茶は、ごくごく飲みやすく、お腹を壊す恐れがあります。

**水筒に氷を入れるのは、お勧めできません。**

## 保育者のマスク着用についてのお願い

マスク着用の目的は、「他人に感染を広めないため」なのですが、夏場、マスク着用で熱中症リスクが高くなる可能性があります。また、マスク着用の長期化による、子どもへの成長への影響が心配されています。この度、厚生労働省新型コロナウイルス感染対策推進部より**オミクロン株の特徴を踏まえ、身体的距離が(目安2m以上)確保できる場合、屋外でランニング等離れて行う運動・鬼ごっこ等密にならない遊びの時は、マスクの着用は必要ないとされました。**

当園内での保育者のマスク着用方法のご理解をお願いいたします。マスク着用を含めた基本的な感染対策(手洗い・換気等)は、引き続き、徹底して行ってまいります。

## マスク生活の長期化にたいして

保育所内では、保育士は(特に0～2歳児クラス)、安全への配慮と子どもへの成長を同時に支えることに苦慮しています。どうか、**ご家庭では、マスクを外し、親子が対面で楽しい・うれしいなどの感情や体を触れ合わせるなどのコミュニケーションを何よりも大切にして、一緒に食事をしながら「そしゃく・えんげ」を見せ、練習をする等をしていただくことをお願いします。子どもの脳の発達や情緒を支えるために。**

### ◇紫外線

有害な紫外線(UVB)を子どもの時、無防備に浴び続けると将来の健康に悪影響があるとされています。過剰なUVをカットする事を意識する事が大切です。

※**紫外線の害**(皮膚がん・免疫力の低下・白内障・疲れやすい・肌荒れなど) <紫外線の予防法>.....  
① 紫外線の強い時間の(午前10～14時)外出は避ける。②日陰を利用する(木陰・テントなど) 照り返しのある場所を避ける。  
③ 衣服で覆う・帽子をかぶる・日焼け止めクリームを塗る・サングラスの使用 ※登園前に塗っておく等対策を子どもの頃から習慣化することが大切です。